

*By Fax TO: (703) 872-9306**AH2**# 4293
USSN: 10/017,983
A.U.: 2839; Conf. # 8381*

Partial English translation of Utility Model Unexamined Publication Heisei
1-168970

(Claim 1)

A connector terminal characterized in that a contact spring 1 having a slit part 3 at the center thereof is formed in a U-shaped taper configuration in the connector insertion direction, and the top end part of said contact spring 1 is fitted on stopper parts 2 being bent from both walls 7 and made to contact each other to form a box shape.

(Line 16 through line 20 of page 2)

The top end parts of the contact springs 1 are hooked on stopper parts 2 being extended from both walls 7 so that the forces tending to move upward are suppressed, the top end parts are fitted on and at the same time the contact springs 1 are protected from external influences.

(Lines 6 through line 10 of page 3)

Fig. 3 is a front view of that shown in Fig. 1, and as the contact spring 1 is provided with a slit part 3 at the center thereof, each spring part functions as an independent spring.

Accordingly, as a two-point contact structure is provided, a defective contact of either of spring parts, if any, will pose no problem.

10/017,985

公開実用平成 1-168970

AH2

④ 日本国特許庁(JP)

① 実用新案出願公開

② 公開実用新案公報(U) 平1-168970

⑤ Int.Cl.*

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 平成1年(1989)11月29日

H 01 R 13/115

C-8623-5E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑥ 考案の名称 コネクタ端子

⑦ 実 願 昭63-65643

⑦ 出 願 昭63(1988) 5月18日

⑧ 考 案 者	佐々木 正雄	神奈川県川崎市中原区下小田中629番地 沖電線株式会社内
⑧ 考 案 者	石 塚 宏 則	神奈川県川崎市中原区下小田中629番地 沖電線株式会社内
⑧ 考 案 者	丸 岡 渉	神奈川県川崎市中原区下小田中629番地 沖電線株式会社内
⑦ 出 願 人	沖電線株式会社	神奈川県川崎市中原区下小田中629番地

10/01/783

明 細 書

1. 考案の名称

コネクタ端子

2. 実用新案登録請求の範囲

コネクタ挿入方向にU字型のテーパー形状を設けて中央にスリット部3を有する接点パネ1を形成し、前記接点パネ1の先端部が両壁面7から折り曲げられ互いに突き合わさって箱型を形成したストッパー部2に係止されていることを特徴とするコネクタ端子。

3. 考案の詳細な説明

〔考案の対象〕

本考案は、コンパクトで且つ接触信頼性に優れたコネクタ端子に関する。

〔従来技術とその問題点〕

従来の端子の接点構造は、単純片持ち梁形状であったので、安定した接触圧を得る為に接点のたわみ量を大きく取ろうとするとパネ長が長くなってしまうコネクタ端子が大きくなってしまいういふ欠点があった。

(1)

739

実開1-168970

公開実用平成 1-168970**〔 考案の目的 〕**

本考案は、これらの欠点を解決する為、コンパクトで且つ接触信頼性に優れたコネクタ端子の提供を目的としてなされたもので、その要旨とするところは、コネクタ挿入方向にU字型のテーパ形状を設けて中央にスリット部3を有する接点パネ1を形成し、前記接点パネ1の先端部が両壁面7から折り曲げられ互いに突き合わさって箱型を形成したストッパ部2に係止されていることを特徴とするコネクタ端子である。

〔 実施例の構成 〕

以下、本考案の実施例を添付図面を参照して詳細に説明する。

第1図は本考案の実施例であって、1は接点パネで端子の底部より出てU字型のテーパ形状とし、中央にスリット部3を形成してある。接点パネ1の先端部は、両壁面7から張り出したストッパ部2に引っ掛けてより上に行きたがる力を止め係止されていると同時に外部から保護されている。4は電線の導体圧着部、5はシース圧着部、

(2)

740

10/017,983

6 はシースである。

第 2 図は本考案のストッパー部 2 の拡大図で、ストッパー部 2 は両壁面 7 から折り曲げられ互いに突き合わさって箱形を形成してある為、外力によるコネクタ端子の変形も防止している。

第 3 図は第 1 図の正面図であって、接点バネ 1 はその中央にスリット部 3 を設けてある為、各々独立したバネとして機能する。

従って、2 点接点構造となる為、万一一方が接触不良をおこしても何等問題は生じない。



〔その他の変形例〕

今迄、2 点接点構造で説明してきたが、それ以上にしても一向に構わない。

又、接点バネ形状やストッパー部の形状等本考案の範囲内で適宜各種の変形を含むものであるとはいうまでもない。

〔考案の効果〕

以上説明の様に、本考案のコネクタ端子によればコンパクトでたわみ量も大きく取れ、接触信頼性に優れた効果を奏することが出来るので、その

(3)

741

10/01/98

公開実用平成 1—168970

工業的価値は大なるものがある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案のコネクタ端子の斜視図、第2図は本考案コネクタ端子のストッパー部の拡大図、第3図は第1図の正面図で接点パネ部の拡大図である。

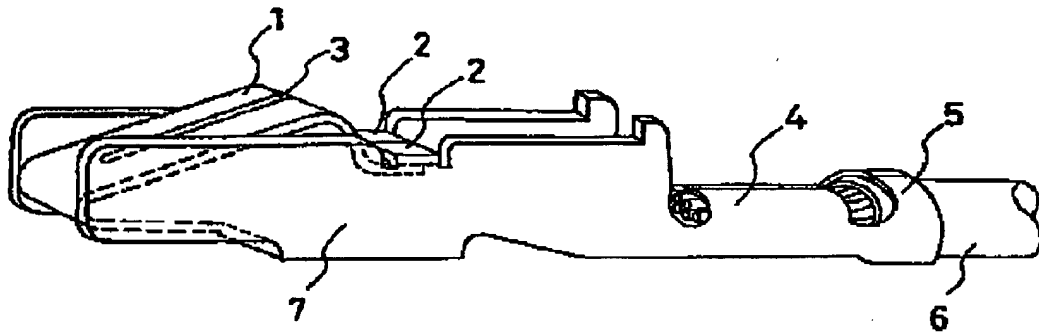
1…接点パネ、2…ストッパー部、3…スリット部、4…電線の導体圧着部、5…シース圧着部、6…シース。



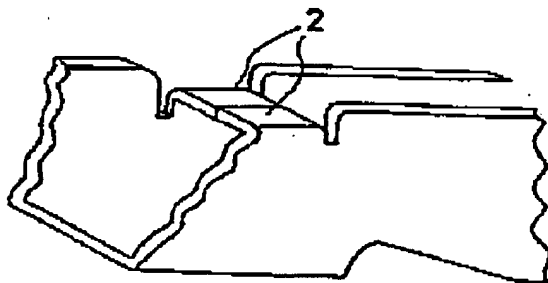
実用新案登録出願人 沖電線株式会社

(4)

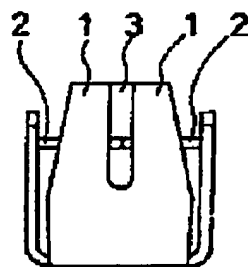
742



第 1 図



第 2 図



第 3 図

実用新案登録出願人 沖電線株式会社

743 実開1-168970